

平成15年度 DO及びSSの測定結果

単位 (mg/l)

河川名	項目	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	12	7.1	9.3	13	2	6
鴨川	新大宮バイパス線下	7.5	2.0	4.0	20	4	15
	加茂川橋	5.9	1.9	3.5	26	6	14
	学校橋	5.4	1.7	3.4	42	3	14
	中土手橋	7.2	2.4	5.0	50	10	24
	さくら草橋	9.9	1.5	5.0	27	10	16.3
鴻沼川	霧敷橋	8.3	2.0	6.2	270	4	37
	新開橋	9	3.5	5.9	44	11	22
笹目川	市立浦和南高校脇	7.3	2.9	4.9	8	1	5
芝川	野原橋下流200m	5.2	3.5	4.5	21	7	12
	境橋	7.5	2.4	4.8	10	3	8
	大道橋	7.7	2.6	4.8	61	8	27
	八丁橋	6.6	2.2	4.1	45	6	21
藤右衛門川	柳橋	4.0	1.1	2.0	15	4	8
綾瀬川	風間橋	10	3.4	6.4	21	5	12
	戸井橋	9.1	4.8	6.6	47	7	20
	躰橋	9.5	3.5	6.2	46	7	24
深作川	宮ヶ谷塔橋	9.1	4.9	6.7	33	7	18
伝右川	高畑自治会館脇	8.7	5.5	6.8	38	5	16

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/l]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成16年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	14	8.2	10	10	2	6
鴨川	新大宮バイパス線下	6.6	2.3	4.4	15	4	9
	加茂川橋	6.6	2.4	4.2	15	2	8
	中土手橋	11	2.2	5.4	54	6	16
	学校橋	7.2	1.8	4.7	14	3	9
	さくら草橋	11	4	6.8	36	5	15
鴻沼川	霧敷橋	11	0.7	5.2	15	8	11
	新開橋	11	2.7	6.9	40	5	20
笹目川	市立南高校脇	9.8	2.9	5.8	24	5	10
芝川	野原橋下流200m(船橋)	6.6	2	4.2	23	6	14
	境橋	5.8	2.7	4.5	16	6	9
	大道橋	7.7	3	4.8	65	6	26
	八丁橋	9.2	2.4	4.8	50	7	27
藤右衛門川	柳橋	6	1.3	2.9	15	4	8
綾瀬川	戸井橋	9.5	4.7	6.9	55	7	21
	風間橋	10	4.3	6.6	21	5	12
	礮橋	10	4.8	6.9	50	7	22
深作川	宮ヶ谷塔橋	9.1	4.6	6.5	38	7	20
伝右川	高畑自治会館脇	11	4.9	7.3	33	6	16

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/l]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成17年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13.1	7.5	9.8	10	2	5
鴨川	新大宮バイパス線下	7.1	2.5	4.2	20	3	9
	加茂川橋	4.8	2.0	3.3	16	2	9
	学校橋	11.5	1.9	3.8	19	3	8
	中土手橋	10.9	2.8	5.9	20	7	13
	さくら草橋	11.2	4.0	6.9	25	4	15
鴻沼川	八幡橋	9.5	1.9	5.9	23	2	9
	新開橋	14.2	5.2	7.6	32	2	11
笹目川	市立南高校脇	9.6	3.9	6.4	15	3	9
芝川	野原橋下流200m(船橋)	6.7	3.6	4.8	18	4	11
	境橋	7.8	3.1	5.1	14	5	9
	大道橋	8.5	2.6	5.1	31	7	19
	八丁橋	8.0	3.8	5.3	47	8	28
藤右衛門川	柳橋	5.4	1.5	2.8	9	5	7
綾瀬川	高野橋	9.9	4.8	6.6	39	3	14
	戸井橋	9.9	4.5	6.7	32	7	18
	暇橋	8.4	5.0	6.7	41	8	21
深作川	宮ヶ谷塔橋	10.4	4.1	6.9	32	6	18
元荒川	城北大橋	11.6	5.0	7.5	10	3	7
	新曲輪橋	11.7	5.3	7.5	15	4	8
	永代橋	12.2	5.2	7.9	12	3	8
伝右川	高畑自治会館脇	9.7	5.5	7.5	39	3	15

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/l]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成18年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	12.2	6.7	9.8	8	2	4
鴨川	新大宮バイパス線下	6.5	2.2	4.3	18	1	10
	加茂川橋	5.5	1.8	3.6	25	4	12
	学校橋	5.2	1.9	3.7	24	2	7
	中土手橋	10.1	5.3	6.6	36	7	19
	さくら草橋	10.6	3.6	6.6	25	6	15
鴻沼川	八幡橋	11.1	4.4	7.8	21	2	6
	新開橋	9.3	5.0	6.9	19	1	9
笹目川	市立浦和南高校脇	10.3	2.9	6.5	27	2	8
藤右衛門川	柳橋	6.6	1.9	3.8	13	4	8
芝川	野原橋下流200m(船橋)	7.5	3.3	5.4	27	4	9
	境橋	8.8	3.3	5.4	16	4	8
	大道橋	8.4	3.7	5.3	54	10	25
	八丁橋	8.6	3.3	5.1	47	7	26
深作川	宮ヶ谷塔橋	9.5	4.4	7.0	36	7	19
綾瀬川	高野橋	9.9	4.6	6.8	24	4	13
	戸井橋	8.6	4.9	6.6	29	7	19
	躰橋	8.3	4.8	6.3	39	6	23
元荒川	城北大橋	8.8	5.7	7.2	29	3	8
	新曲輪橋	9.3	4.9	7.3	24	2	8
	永代橋	10.3	6.0	8.1	13	2	8
古隅田川	城殿宮橋	8.8	2.8	5.5	38	8	20

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成19年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13.0	5.9	8.9	17	3	6
鴨川	新大宮バイパス線下	6.9	1.6	3.3	26	6	11
	加茂川橋	7.1	1.5	3.3	49	8	16
	学校橋	7.1	1.1	3.7	51	6	15
	中土手橋	10.0	3.5	6.2	57	9	24
	さくら草橋	9.2	3.7	6.4	38	11	22
鴻沼川	櫛引橋	4.1	1.0	2.5	37	9	17
	八幡橋	10.0	5.4	7.3	20	3	9
	新開橋	9.9	3.7	6.0	25	6	14
笹目川	市立浦和南高校脇	8.0	2.3	5.6	27	3	13
藤右衛門川	柳橋	6.9	2.5	4.0	50	11	21
芝川	野原橋下流200m(船橋)	6.3	1.9	4.2	49	6	20
	境橋	6.2	1.9	4.0	28	7	13
	大道橋	7.9	1.6	4.2	43	6	25
	八丁橋	8.5	1.8	4.1	53	9	25
深作川	宮ヶ谷塔橋	10.0	3.8	6.1	70	5	23
綾瀬川	高野橋	8.7	3.5	5.7	110	7	25
	戸井橋	7.6	4.3	5.9	61	11	25
	暇橋	7.8	4.3	5.9	50	9	22
元荒川	城北大橋	7.5	4.0	5.6	21	6	11
	新曲輪橋	7.6	4.5	6.2	15	5	11
	永代橋	9.0	4.4	7.6	16	4	11
古隅田川	城殿宮橋	6.6	2.1	3.8	38	13	24

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。